



ゆうごう



設立1周年記念フォーラム(案)

会員の皆様、お元気でご活躍のこと拝察いたします。教育改革の流れは、ますます学校と家庭・地域との「融合」に向いているようです。今年も、研鑽を深め、大胆な発想と着実な手法で実践をしていきましょう。

さて、本会も8月には設立1周年を迎えます。3月の役員会で、「設立1周年記念フォーラム」の開催を検討し、つぎのような計画で準備中です。必ずや、会員の皆様の期待に応えうるものと確信しておりますので、参加ができるよう、今から予定をたてておいてください。多数の参加をお待ちしています。

日時 1998年8月1日(土) 9:00~21:00

途中参加、途中退席とも自由です。

場所 習志野市サンロード大会議室ほか(後日、会報で案内の地図を同封します)

内容

講演 10:15~12:00

「21世紀の生涯学習と学社融合」(仮題)

講師、文部省生涯学習局生涯学習振興課長 寺脇研氏

パネルディスカッション 13:00~15:00

「学社融合への具体的方策」(仮題)

ほかに、ブライアン・アシュレイ氏(スウェーデン、社会学)か、ロジャー・ハート氏

(アメリカ、環境心理学・発達心理学)による「子どもが生き生きする町づくり(仮題)」の提言も検討中です。

分科会 15:00~17:00

学校と地域との融合による町づくり(提言者、習志野市秋津コミュニティ) **決定**

高齢化社会と学校・地域の融合(提言者、仙台市シニアネット) **決定**

学校・地域の融合と行政の役割(提言者、栃木県鹿沼市教育委員会) **決定**

過疎化地域における学校・地域の融合(提言者、山梨県早川町立早川南小) 予定

世代間をつなぐコミュニティ活動(提言者、市川市サンシャインクラブ) **決定**

施設見学(習志野市秋津小学校コミュニティルームおよび、ラムサール条約登録地「谷津干潟」) **決定**

講師「寺脇研」氏について

1952年生まれ。文部官僚でありながら「マンガ論」（「本の窓」1998年3月号、小学館）を書いたり、「中学校の業者テスト廃止」を手がけたりした人です。また、映画にも造詣が深く、多彩な方です。「世界」1998年2月号（岩波書店）では「学校をどう変えて行くか」をテーマに宮台真司氏（都立大学助教授）と対談。広島県教育長を経験。著書多数。

・講演だけでなく、パネルディスカッションのコーディネーターとしてもお願いしたいと考えています。

参加費 無料

資料代 会員は 1,000円 会員外2,000円

会員会費（1998年度分）を未納の会員および、当日に会員登録をすると、資料代も含めて「3,000円」になります。

宿泊を希望される方は、事務局に7月20日までにご連絡されるか、ご自分で予約をしてください。現在「日本学校・家庭・地域教育研究会」との共催の線で準備を進めています。先方の役員会での検討結果を待っている段階です。

申込み（先着100名）

〒275-0025 習志野市秋津3-1-1 習志野市立秋津小学校長「宮崎 稔」

TEL(0474)51-8111 FAX(0474)51-8112

メールアドレス miyazaki@jb3.so-net.or.jp

----- き り と り せ ん -----

設立1周年記念フォーラムに

参加しません

参加します

宿泊を希望しません

宿泊を希望します

7月31日

8月1日

か×を記入してください。

氏 名 _____

連絡先住所 〒 _____

TEL. _____

FAX. _____

文部省の意向を多くの方に、じっくり伝えたい。 からとのこと。

連絡先は、文部省生涯学習局生涯学習振興課総務係「西村さん」へ。

会場の仮押さえ分

1、大会議室（100人収容） 9：00～17：00

全体会、パネル、分科会に使用

2、特別会議室（20人収容） 9：00～21：00

講師控室、役員会、分科会に使用可能

3、和室（舞台付き12畳） 13：00～17：00

役員会、分科会に使用可能

借用にあたっては、無料。契約管財課が所管であるが、教育委員会学務課を通すこと。

今後の仕事

1 市教委に連絡、参加を募ってもらう。（4.6にまず連絡済）

2 会員に連絡（会報で）

3 当日の内容をつめる

・時程 ・テーマ（講演、パネル、分科会） ・登壇者（パネル、分科会提案）

4 当日までのタイムテーブル作成

5 当日の各担当者（司会、記録、写真、受け付け、接待等）の決定

6 その他（謝礼等、雑誌への案内掲載、

7 会員に対して（受付付け名簿、資料、新規会員登録表、立看板、会次第、会場案内表示、ネームプレート、釣銭、麦茶、コップ、灰皿

学校と地域の融合教育研究会「1周年記念フォーラム」

会 場 へ の 経 路

（会場は、京成津田沼駅の駅ビル5・6階です）

1. 「JR東京駅」から、総武線で「津田沼駅」まで約30分。

「津田沼駅」から「袖ヶ浦団地行」バスで約5分。「京成津田沼駅」下車

2. 「JR東京駅」から、京葉線で「新習志野駅」まで約30分。

「新習志野駅」から「JR津田沼行」バスで約10分。「京成津田沼駅」下車

3. 「京成上野駅」か「京成日暮里駅」から、「京成津田沼駅」まで約40分

（スカイライナーを除く特急・急行等、すべて停車します）

4. 自家用車の場合

京葉道路「幕張インター」で降りて、約5分

東関東自動車道「習志野インター」で降りて、約15分（東京方面から来た場合）

関東自動車道「千葉インター」で降りて、約20分（成田・千葉方面から来た場合）

駐車場は、習志野市役所（無料・徒歩2分）をご利用ください。

提言者のみなさまへ

前略

8月1日のフォーラムでの、パネラーおよび分科会提言をお引受けくださいますようお願い申し上げます。

参加の申込みは、100名を予定しているところ、既に50名を超える数が届いております。これから、新聞紙上および雑誌等で取り上げていただく予定ですので、ますます参加希望が増えるものと思います。(事務局では、入りきれなかった場合どうしようかと、実は今からビクビクしています。ありがたい心配です。)

ところで、一部パネラーの方から、当日のことでつぎのような質問が届きました。ご心配をおかけして申し訳ございません。その回答をご連絡させていただきます。

1. 集合時刻は、最悪1:00からのパネルディスカッションには間にあうように、直接、会場へおいください。(フォーラム全体としては、10:00から開始です)
2. 資料の枚数には制限はございません。当日お持ちになるか、事務局へ原稿を郵送くだされば印刷いたします(印刷してくる場合、150部を予定していただきます)。
なお、書式をA4版に統一したいと思います。よろしいでしょうか。資料等でそれ以外のものがある場合は、そのまま結構です。
3. 分科会の司会を必要とされる場合、ご連絡ください。誰を指定するか、事務局に一任するかについてもお願いします。(必要ない場合は、ご自分でコーディネートしながら、進めていくことができます)
4. 視聴覚機器(ビデオ、OHP、スライド、パソコン、黒板等、および投影用のスクリーンや付帯機器)を使われる場合も、ご連絡ください。できる限り対応します。

その他

パネルディスカッションの進行について(時間厳守をお願いします)

- ・発表は、各自15分です。(詳細は、分科会で補足提案してください)
- ・一通り発表後に司会者とやりとりし、最後に5分間のまとめをしていただきます。

パネラーの紹介用に、別紙に「発表主旨」をご記入いただき、返送ください。(資料として、当日配布します)

分科会の進行について

- ・パネルディスカッションをお聞きの参加者の関心に応じて、より深めたい分科会への参加希望をとります。
 - ・分科会の部屋(同ビル内)は、こちらで決めさせていただきます。
- 会場への地図を同封しました。ご利用ください。

当日の足代程度は、参加費から出したいと考えておりますが(参加人数にもよります)、あまり期待しないでください。

行き届かないことが多いと思いますが、お許しください。

何かご質問がある場合は、事務局か秋津小学校「宮崎」まで、どのようなことでもお願いします。会員へのもう少し詳しい案内は、まもなく「会報」で連絡します。

学校と地域の融合教育研究会「設立1周年記念フォーラム」

パネラー紹介

お名前

ご住所 〒

お電話

F A X

e-mail

発表主旨

前略

8月1日の「学校と地域の融合教育研究会フォーラム」での、御講演よろしくお願ひ致します。

さて、本会の会報第4号ができましたので、送らせていただきます。また、当日の分科会提言者（パネラーでもあります）の一人でもあります仙台市の「庄子平弥様」から、提言内容に関わる資料が送られてきましたので、参考までに同封させていただきます。

以上、よろしくお願ひします。

草々

学校と地域の融合教育研究会
会 長 宮 崎 稔

提言者のみなさまへ

前略

8月1日のフォーラムでの、パネラーおよび分科会提言をお引受けくださいますようお願いいたします。

ところで、前回ご連絡した件に引き続き、次のことについてご連絡させていただきます。

1. 司会者についての希望がありませんでしたので、次のように決めさせていただきました。

| 分科会 | 提言者 | 司会者(所属) |
|-----|------|--------------------|
| 1 | 瀧野英一 | 工藤雪雄(国立教育会館企画主事) |
| 2 | 庄子平弥 | 野澤令照(仙台市教育局社会教育主事) |
| 3 | 越田幸洋 | 竹内裕一(千葉大学教育学部助教授) |
| 4 | 望月利和 | 岸 裕司(融合教育研究会副会長) |
| 5 | 野口陽一 | 種田祝次(秋津コミュニティ運営委員) |

2. 当日、全体会場に、提言内容に関わる「写真資料」を、模造紙程度の大きさに貼り、次のように作成して掲示したいと思います。もし可能ならば、郵送していただけないでしょうか。解説は、写真の裏面に鉛筆書きをしていただくか、別紙に説明を書いて同封してください。

なお、前回分の連絡内容は、次の通りです。(太字は、新しく加えた分です)

1. 集合時刻は、最悪1:00からのパネルディスカッションには間にあうように、直接、会場へおいください。(フォーラム全体としては、10:00から開始です)
2. 資料の枚数には制限はございません。当日お持ちになるか、事務局へ原稿を郵送くだされば印刷いたします(印刷してくる場合、150部を予定しててください)。
なお、書式をA4版に統一したいと思います。よろしいでしょうか。資料等でそれ以外のものがある場合は、そのまま結構です。
事前に袋詰めをしたいと思しますので、できるだけ事前に郵送ください。
7月22日までに郵送くださると助かります。
3. パネラーの紹介用に、別紙に「発表主旨」をご記入いただき、返送ください。(資料として、当日配布します)
まだご提出いただけてない提言者は、これも7月22日までにお願いします。
4. 視聴覚機器(ビデオ、OHP、スライド、パソコン、黒板等、および投影用のスクリーンや付帯機器)を使われる場合も、ご連絡ください。できる限り対応します。

準備の都合上、7月22日までに同封のFAX用紙でご回答ください。

その他

パネルディスカッションの進行について(時間厳守をお願いします)

・発表は、各自15分です。(詳細は、分科会で補足提案してください)

行き届かないことが多いと思いますが、お許しください。

何かご質問がある場合は、事務局か秋津小学校「宮崎」まで、どのようなことでもお願いします。

(回答用紙) F A Xでできるだけ早く回答ください。

F A X 番号 0 4 7 4 - 5 1 - 8 1 1 2 (秋津小学校)

0 4 3 - 4 8 9 - 7 8 0 9 (宮崎の自宅)

分科会提言者氏名 ()

次のことに必要事項を記入して F A X ください。

- 1 分科会の司会者は
() 事務局案が良い
() 自分で決める - - その場合「 」様
- 2 写真資料は
() 郵送できる
() 郵送できない
- 3 当日は
() 1 0 : 0 0 までに到着できる
() 1 : 0 0 のパネルディスカッションまでになら到着できる
- 4 提言資料は、
() 7月22日までに郵送するので印刷をしてほしい
() 自分で150部印刷し、当日持参する
() 使わない
- 5 発表主旨は
() すでに郵送済み
() 7月22日までに郵送できる
() 遅れそうである - - その場合「 日」ごろになりそう
- 6 視聴覚機器は
() 使用する - - 詳細を下記に記入ください

() 使用しない

榎 重善 様

FAXをありがとうございました。お会いしても、お顔を遠くから見る程度で、なかなかゆっくり話ができず、申し訳なく思っています。

- ・コミュニティガーデンのこと
- ・幼稚園でのお泊り会のこと
- ・融合教育研究会のこと

等々、いろいろ話したいと思うのですが、気がつくと姿を消していることが多く、残念です。

さて、8月1日のフォーラムの件ですが、次のように考えています。

- 10:00 開会、あいさつ等。引き続き、講演(寺脇研氏)
- 12:00 昼食
- 13:00 パネルディスカッション(分科会提言者による)
- 15:00 **ブライアン・アシュレイ氏による提言(30分~60分)** 質疑を含む
- 15:30(または16:00) 分科会
- 17:30(または18:00) 終了

当初に組み込まれた予定の中にアシュレイ氏の話を入れるので、30分になるか1時間になるか、まだ役員会で詰めていません。追って、連絡します。

「宿泊は、習志野市で行うかどうか」について、奥田先生には連絡済みですが、まだ確定のお返事はいただいております。

会費のみの運営なので(文部省や基金等の、後援をどこからもいただかないで実施しようという趣旨なので)、交通費の一部負担ぐらいは出せるかと思いますが、あまり期待で来ません。

主催者側の意図

主催は「学校と地域の融合教育研究会」ですが、当初は学校と地域との関係の中で、市民一人一人が自分の持ち場や意思で、まちづくりにできることから関わって行けることはないか、またその方策はどのようにしたらよいかということについて、先進事例をもとに考えあうという会でしたが、今は会員の構成上からも、必ずしも学校(子ども)とのかかわりに限定せずに活動しています。

発表者や会員の中にも、学校(子ども)を舞台にしないで活動している方がたくさんいます。「まちワーク研」と、どこがどうちがうのかと言われると、「同じです」と応えた方が当たっているように思います。過日も「まちワーク研」の萩原さんに、「一緒になりませんか。吸収してください。」と電話した程です。

過日、奥田さんが秋津小学校にお見えの時、「アシュレイさんが来るから、ちょっとでも話す機会をもってもらえないかしら。」とのご提案があり、役員会の満場一致でお願いしようということになりました。せっかく、アシュレイさんの主張が載っているものをいただきながら、まだほとんど目を通していないのが現状です。ただ、あのときの奥田さんの話から、会の趣旨に外れることはないだろうと思い、こちらの趣旨等も伝えずにお願ひしているというのが現実です。

なにか、これからもご不便をおかけすることが多く出そうですが、そのときは、今回のようにまた教えてくださると幸いです。

以上、よろしくご連絡ください。

学校と地域の融合教育研究会
会長 宮崎 稔

後 援 申 請 書

平成10年6月20日

I P A日本支部 様

申請者 住所 千葉県習志野市秋津3 - 1 - 1

習志野市立秋津小学校内

団体名 学校と地域の融合教育研究会

代表者 会長 宮 崎 稔 印

TEL 0474 - 51 - 8111

下記の行事の後援を承認されるよう申請します。

記

1. **行事の名称** 学校と地域の融合教育研究会フォーラム
2. **主 催 者** 学校と地域の融合教育研究会
3. **後 援 者** 習志野市教育委員会
手をつなぐNPOの会「千葉」
4. **行事の趣旨** 学校と地域の融合により、子どもの教育環境を整えるとともに、まちづくりに寄与する方策を検討する。
5. **場 所** 習志野市役所分室サンロード会議室
6. **日時・日程** 平成10年8月1日(土) 10:00~18:00
7. **参加予定者** 本会会員および一般会員 150名予定
8. **収支予算** 別紙

後 援 申 請 書

平成10年6月24日

まちワーク研究会 様

申請者 住所 千葉県習志野市秋津3 - 1 - 1

習志野市立秋津小学校内

団体名 学校と地域の融合教育研究会

代表者 会長 宮 崎 稔 印

TEL 0474 - 51 - 8111

下記の行事の後援を承認されるよう申請します。

記

1. **行事の名称** 学校と地域の融合教育研究会フォーラム
2. **主 催 者** 学校と地域の融合教育研究会
3. **後 援 者** 習志野市教育委員会
手をつなぐNPOの会「千葉」
IPA日本支部
4. **行事の趣旨** 学校と地域の融合により、子どもの教育環境を整えるとともに、まちづくりに寄与する方策を検討する。
5. **場 所** 習志野市役所分室サンロード会議室
6. **日時・日程** 平成10年8月1日(土) 10:00~18:00
7. **参加予定者** 本会会員および一般会員 150名予定
8. **収支予算** 別紙